

分科会1

地域とともにある学校づくり
小学校・中学校

学校と地域でつくる 子どもたちの学びと未来

～支援から協働へ 未来を拓く地域貢献活動～



発表者 鳥取県伯耆町教育委員会生涯学習室
CSディレクター 小澤 敦彦

指導助言 文部科学省CSマイスター 安田 隆人
(岡山県高梁市教育委員会社会教育課 参事)

- 1 コミュニティ・スクール活動の実態と
伯耆町の教育
 - ①コミュニティ・スクール活動アンケートの結果
 - ②HK30プランと3rdステージ

- 2 地域貢献活動の推進
 - ①学びの成果を地域に開く
 - ②地域貢献活動と「ゆめネット」

- 3 今後への期待と課題

鳥取県伯耆町の紹介



全国コミュニティ・
スクール研究大会
by 南部町



面積



人口



(令和5年11月1日現在)



鳥取県伯耆町の紹介



伯耆町教育ネットワーク会議



未来を担う人づくりは
将来の町づくり

おはよう
ございます!

おかえり!

あいさつの響きあう町

伯耆町教育ネットワーク会議

伯耆町

めざす児童・
生徒像の策定

学校名	岸本小	八郷小	岸本中	二部小	溝口小	溝口中
設置年度	H23	H23	H30	H30	H25	H28
児童生徒数	328名	40名	197名	34名	93名	89名
委員数	15名	15名	15名	15名	15名	14名
年間開催回数	6回	6回	5回	6回	6回	6回
保育所	こしき保育所、ふたば保育所、あさひ保育所			溝口保育所		
校区	岸本中学校区			溝口中学校区		



地域の存続、学校の存続を危惧する声が、少なくない。

西伯郡小学校 自己肯定感アンケート 全児童 (R2.1) %

No	質問	岸本小	西伯郡
1	最後までやりとげて、うれしかった	90	89
2	失敗をおそれないで挑戦している	82	81
3	自分には、よいところがある	82	79
4	自分の考えを発表することは好き	58	57
5	友達の話最後まで聞いている	93	91
6	夢や目標をもっている	84	86
7	学校に行くのは楽しい	88	81
8	みんなで何かをやりとげて、うれしかった	91	85
9	こまっている人を助けている	84	83
10	話を聞いてくれる人がいる	93	91

肯定的回答

郡を下回る

郡を上回る

+ 3%以上

岸本小学校児童の特徴

- ◇ 全体的に、自己肯定感が高い。
- ◇ 自分には、よいところがあると思い、失敗を恐れず挑戦する児童が多い。
- ◇ 人が困っている時は助け合い、みんなで協力し達成する喜びを知っている。
- ◇ 学校に楽しく通っている児童が多い。

- ◇ 考えを発表することは、重点課題。
- ◇ 夢や目標があるという児童の割合が少ない。

- ◇ 「自己肯定感？」・・・「自己有用感？」・・・「メタ認知能力」を育てる。
- ◇ 自然体験、人との交流、失敗経験を活かす。合意形成能力を育てる。

多様性を認める

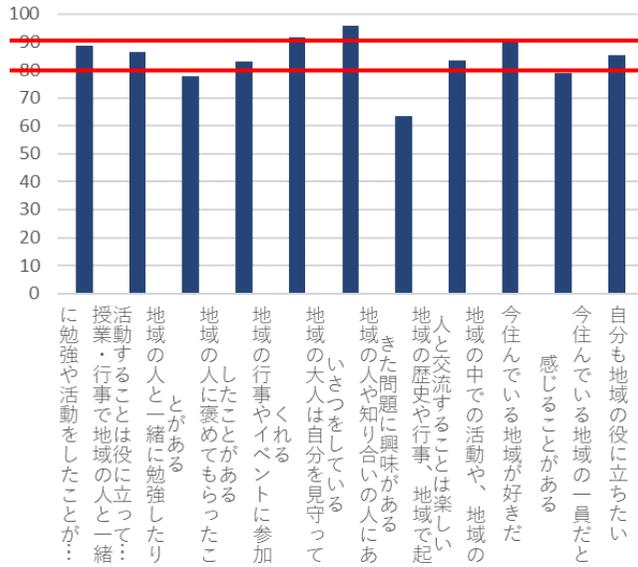
つながる

コミュニティ・スクールの活動に関するアンケート

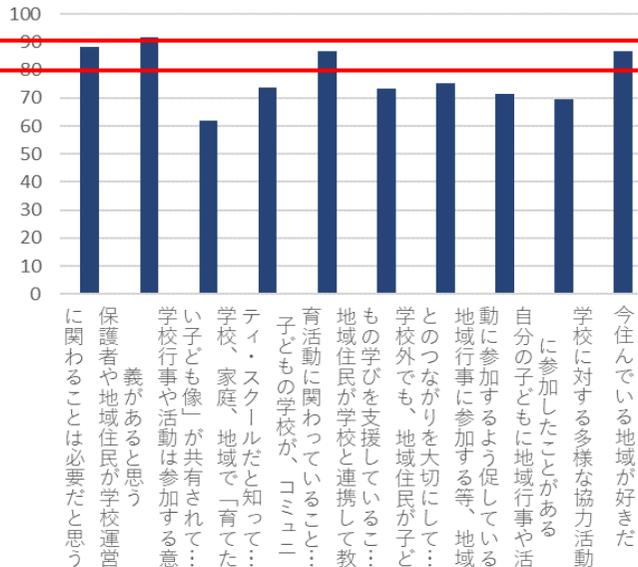
令和5年2月実施

(参考：文部科学省CSポートフォリオ)

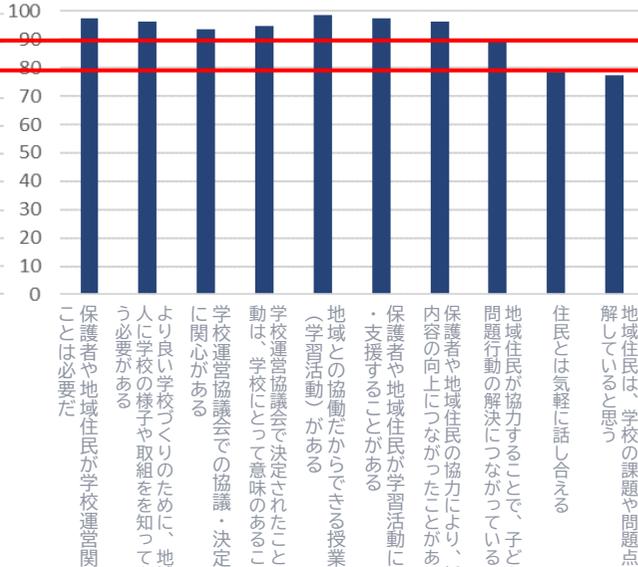
児童生徒



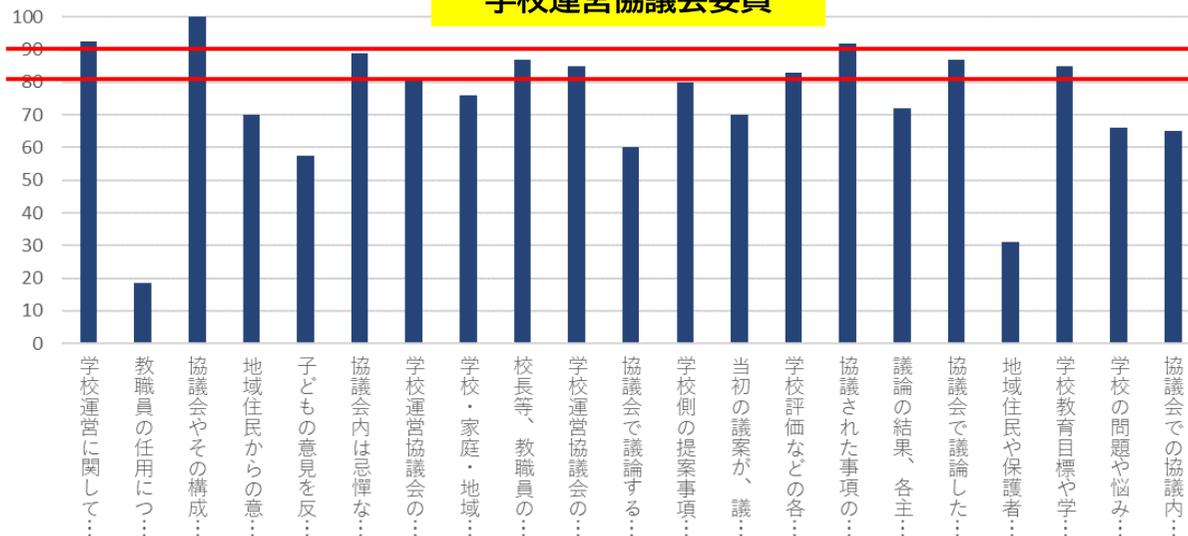
保護者



教職員



学校運営協議会委員



実施：伯耆町教育委員会
対象：町内全小中学校

回答者

小5・6年、中学生 439名
保護者 306名
教職員 79名
CS委員 54名

コミュニティ・スクールの活動に関するアンケート

肯定的回答 90%以上

肯定的回答 80%以下

地域貢献
の意識

児童生徒

地域の大人は自分を見守ってくれる
今住んでいる地域が好きだ

地域への愛着

地域の人に褒めてもらったことがある
地域の歴史や行事、地域で起きた問題に興味がある
今住んでいる地域の一員だと感じることがある

地域への
帰属意識

保護者

学校行事や活動は参加する意義があると思う

学校、家庭、地域で「育てたい子ども像」が共有されて
地域行事に参加する等、地域とのつながりを大切にしている
自分の子どもに地域行事や活動に参加するよう促している

教職員

保護者や地域住民が学校運営に関わることは必要だ
より良い学校づくりのために、地域の人に学校の様子や取組を知ってもらう必要がある
学校運営協議会で決定されたことや活動は、学校にとって意味のあること
保護者や地域住民の協力により、授業内容の向上につながったことがある

子どもの
意見を反映

地域・子ども
学校・保護者
の交流 ⇒ 信頼

学校運営協議会委員

学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある
協議会やその構成メンバーにも、より良い学校づくりを進める自覚がある

子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある
学校・家庭・地域で育てたい子ども像が共有されている

地域とともにある
学校という認識

企画・熟議
実行・役割分担
情報共有・発信

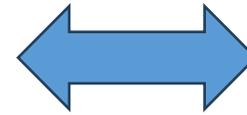
育てたい
子ども像
の共有

1 コミュニティ・スクール活動の実態と伯耆町の教育

HK30プラン ステージ図

年度	ステージ	段階	目標等	備考
平成26年度 27年度 28年度 29年度	1st		保小中一貫教育の整備・運用 学校運営協議会導入準備完了	一貫カリキュラム完成
平成30年度 令和元年度 2年度 3年度 4年度 5年度	2nd		全学校がコミュニティ・スクールとなる 伯耆町教育ネットワーク会議の整備・運用	コロナ禍 コロナ禍 コロナ禍 一貫カリキュラム改訂
令和6年度 7年度 8年度	3rd	A B	伯耆I学習を中心とした地域学習の展開① 伯耆I学習を中心とした地域学習の展開②	一貫カリキュラム改訂
令和9年度 10年度 11年度	4th	C D	保小中一貫教育を中心した学力づくり展開① 保小中一貫教育を中心した学力づくり展開②	一貫カリキュラム改訂

2 地域貢献活動の推進 ①学びの成果を地域に開く



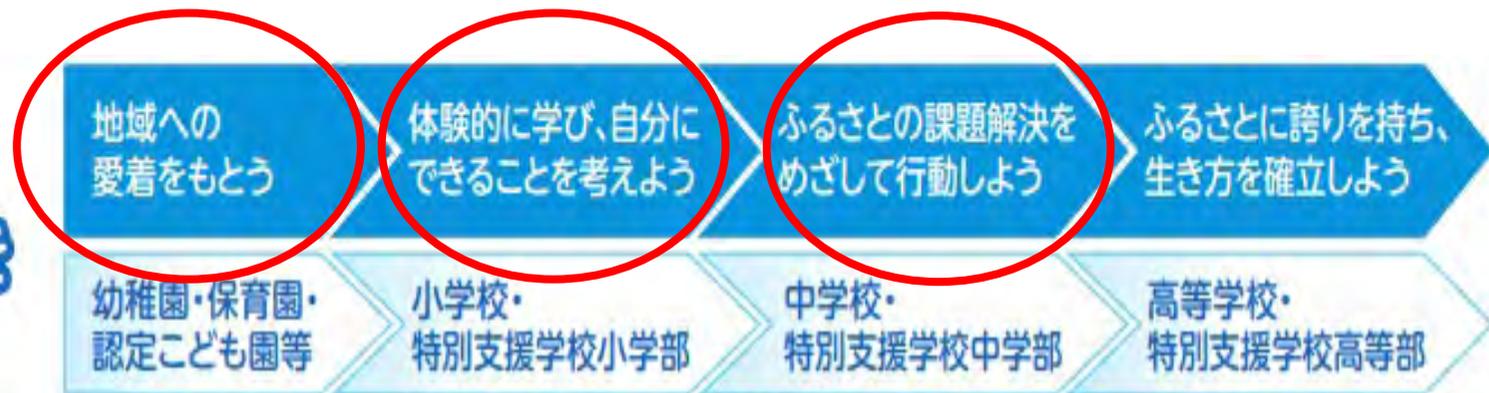
伯耆I学習

- よりよい社会を創るという目標を共有する社会と連携・協働しながら、未来の担い手を創る。
- 「地域学習」と「生き方学習」の2軸で構成する。

課題 学びの成果を地域に返す学習段階の充実

1課題の設定 2情報の収集 3整理・分析 4まとめ・表現 ⇔表現の工夫
※地域に返す表現の工夫

ふるさと
キャリア教育を
推進します!!



身近な自然に親しむ



防災・安全マップづくり



地域を学ぶ職場体験



県内企業への
インターンシップ



鳥取県特別支援学校
技能検定の実施

2 地域貢献活動の推進 ①学びの成果を地域に開く

「伯耆I学習」としての取組

伯耆町が掲げる「人間力」の
3つの力

自立・協働・創造

+

伯耆愛

「伯耆I学習」が示すキーワード

伯耆愛、Iidentity（主体性）、Innovation（創造）、Initiative（主導）、Intelligence（知識）、
Independence（自立する）、Individuality（個性）

「地域学習」と「生き方学習」の2軸を設定

「人間力」と「伯耆町の将来を創造する力」

2 地域貢献活動の推進 ①学びの成果を地域に開く

伯耆I学習

①学校運営協議会の関わり ②効果的な取組を行うための工夫 ③教育委員会の伴走支援

- ① 学校運営方針の承認のための協議、学校関係者評価の作成の中で重視
- ① 教職員との熟議の中で、地域の学習素材、人材発掘、効果的な表現・発信方法について協議
- ② 公民館等の社会教育施設、ケーブルテレビ等の関係機関との連携
- ③ 児童・生徒に力をつけていくこと（見える学力、見えない学力）が重要と随時、説明



伯耆I学習の「まとめ・表現」の段階の工夫が充実してきた

- ・ 児童生徒の考えを重視 ⇔ 総合表現・ものづくりを工夫、発信の相手（地域）を意識
- ・ 学習支援活動の段階の変化（課題設定、情報収集、整理・分析 + まとめ・表現）

（例）小学校・・・体験的に学び、自分にできることを考えよう。

- 学習発表会で劇やまとめを紹介（発信の工夫）
- 育てたサケの稚魚やホタルの幼虫を放流（活動の工夫）
- 地域マップを作って各施設に掲示、学校HPで紹介（発信の相手を意識）
- 育てた米でお餅を作って、地域の人を招いて収穫祭を企画（児童の考えを重視）

2 地域貢献活動の推進 ①学びの成果を地域に開く



荒廃農地で「ひまわり」を育てる



アンケート結果から課題を見つけ
全校集会で、各委員会が改善策を提案する



大山の原生林「ブナの苗木」を育てる

2 地域貢献活動の推進 ①学びの成果を地域に開く



学習成果の発信「しいたけ体操」二部小学校

伯耆町ケーブルテレビのCMとして、1か月間放映⁵

児童・生徒 → 地域貢献活動の推進

ゆめネット

- 伯耆I学習の学びの成果を地域に開く、返す。
- 中学生の希望者が、地域や団体等の行事や活動にボランティアとして参加する。(学校が窓口)

地域に貢献する活動を通して、児童生徒の自己肯定感、自己有用感を高め、地域の人々を元気にし、地域の活性化に寄与する。

岸本中学校 学校運営協議会

学校経営グランドデザイン

- ◇ 目指す生徒像を具現化するために
- ◇ 生徒の地域交流、地域発信、地域貢献について
- ◇ . . . 学校運営協議会と協働する。

学校運営協議会委員の声

- ◇ 中学生に、各地域のイベント企画の一部を担わせたい。
- ◇ 小学生の放課後児童クラブの指導補助ができないか。
- ◇ 中学生段階で地域行事等に参画させ、高校生年代の活動に繋げたい。
- ◇ 中学生の声を聞き、CSとして主体的に取り組むことを見出したい。

地域貢献活動の推進

ゆめネット・・・生徒の地域貢献活動

目的・方法

- 児童・生徒が、地域や団体等の行事の補助や作業の手伝い等の体験をとおして、大人の世界との接点を発見することができる。
- 児童・生徒が地域の大人(職業人)との交流をとおして、働くことの意義を理解し、自分と地域社会とのつながりについて考えることができる。
- 児童・生徒が地域で活躍することで、地域に貢献し、地域の活性化を図り、地域の人々を元気にすることができる。
- 中学生の希望者が、休日等に参加する。当日の指導、安全確保をお願いする。

2 地域貢献活動の推進 ②地域貢献活動と「ゆめネット」



2 地域貢献活動の推進 ②地域貢献活動と「ゆめネット」

令和 5 年度 (4月~11月) 伯耆町 地域学校協働活動実績集計表

区分	地域 ⇒ 学校・保育所支援活動												学校名 保育所名	区分	学校 ⇒ 地域貢献活動				小計
	学習支援 生活支援	校外学習 体験・交流	ゲストT エキスパー ト	読み聞かせ 聞いて聞いて	クラブ 部活動	キャリア教育 職場体験	学校行事 園行事 PTA活動	図書館 支援	環境整備 施設修繕	ボランティア 交流会	ボランティア 打合せ	小計			学びの 成果発信	学びの 成果活動	地域行事 参加・交流	地域行事 企画	
事業数	22	49	8	22	9	19	17	0	30	4	6	186	合計	事業数	2	2	25	0	29
人数	84	184	21	156	26	93	129	0	353	22	9	1077		人数	28	23	134	0	185
内容 (例)	各教科 外国語 総合 等 教室で学 習活動を 支援 ミシン 料理 合唱合奏 運動 着付け 踊り 木工 百人一 首 書道 ICT 日常活動 生活支援 散歩補助	史跡 農地 森林 河川 施設等見 学 町探検 田植え 野菜作り 花植え 植菌 スキー 登山 昔遊び 芸能 星の観察 芋交流会 生物調べ 郷土料理 福祉体験 七夕 ひなまつ り	ホテル 米作り 日野川 椎茸 大山 星座 鳥魚虫 手話 職業講話 主に学校 に専門家 を招いて お話を聞 く ボランティ アの場合 が対象	読み聞かせ お話タイ ム 各教室実 施で1事 業 音読傾聴 暗唱傾聴	ボランティ ア活動と して指導	CHA3 職場体験 受入れ事 業所数を 1事業 企業訪問 数を1事 業	遠足 プール掃 除 マラソン 大会 駅伝大会 運動会 文化祭 学習発表 会 園外行事	本の修理 装飾	田畑耕運 花壇整備 草刈り 校内清掃 ペンキ塗 り 笹取り	全校との 交流会			学習のま とめを地 域に紹介 成果を歌 やダンス で紹介 成果を地 域に提言 する	成果を学 習活動と して地域 に還元す る	地域行事 にボラン ティアで 参加する 学習の一 環で地域 行事等に 参加する 学校が窓 口となり 募集し参 加する	学習活動 の一環と して、地 域行事の 一部の企 画に関わ る			

てこネット
地域(大人)→
学校・保育所支援活動

ゆめネット
学校(子ども)→
地域貢献活動

2 地域貢献活動の推進 ②地域貢献活動と「ゆめネット」

地域貢献活動受入れ予定団体 訪問計画

10月	16日 (月)	17日 (火)	18日 (水)	19日 (木)	20日 (金)
9時	商工会 青年部	溝口中	産業課	野坂農園	
10時	森田農園	岸本中	岸本公民館	総務課	福祉課
11時	社会福祉 協議会			二部活性化 推進機構	
昼					
13時	文化センター	日光地区 協議会	スマイリース スポーツクラブ		
14時			たくしクラブ		写真美術館
15時	岸本児童 クラブ	八郷児童 クラブ	図書館	溝口公民館	溝口児童 クラブ

公の団体・施設等を中心に、21機関に依頼。 ⇒ 17事業（48の活動機会を受託）

2 地域貢献活動の推進 ②地域貢献活動と「ゆめネット」

令和5年度 ゆめネット(地域貢献活動) 年間計画(11月～2月上旬)

伯耆町内の中学生と保護者の皆様

伯耆町教育委員会、伯耆町地域学校協働本部

伯耆町教育委員会では、週末や長期休業中に、公民館などの施設や事業所、農家などで、中学生の希望者がボランティアとして、地域の活動に参加する活動を「ゆめネット」と呼称することとし、この度、「ゆめネット」の協力団体等を募り、次の活動が実施できることとなりました。

自分のために、地域のために、未来のために、ボランティアとして、どれかの活動に参加してみませんか。活動の詳細は、期日が近くなったら、参加生徒を集めて改めて説明します。

応募締切日までに、参加したい活動を申込用紙に記入し、担任の先生に提出してください。

また、ボランティア活動保険の詳細を裏面に記しています。加入希望者は、申込書に代金を添えて申し込んでください。(一度加入すると、年度末までの活動が対象になります。)

A	親子運動遊びの補助
主催 : ほうきスマイリースポーツクラブ ☎0859-68-	内容 : 幼児～小学校低学年親子の運動遊びのサポートをします。
日時 : ①11月11日(土) 9:30～11:30 ②11月25日(土) 9:30～11:30	場所 : 伯耆町総合スポーツ公園体育館
人数 : 各回2名程度	持物 : 飲料、運動のできる服装、体育館シューズ
締切 : ①11月1日(水) ②11月10日(金)	

B	クロスカントリー大会の補助
主催 : ほうきスマイリースポーツクラブ ☎0859-68-	内容 : 幼児クロスカントリー大会の計時係、コース誘導係などの大会運営補助をします。
日時 : 11月11日(土) 12:30～15:00	場所 : 伯耆町総合スポーツ公園ちびっ子広場
人数 : 4名程度	持物 : 飲料、運動のできる服装
締切 : 11月1日(水)	

C	伯耆町美術展ワークショップの補助
主催 : 伯耆町教育委員会生涯学習室 ☎0859-62-	内容 : 伯耆町美術展のワークショップ(石版画に挑戦しよう)の補助をします。
日時 : 11月11日(土) 13:00～16:00	場所 : 岸本公民館
人数 : 2名程度	持物 : 飲料
締切 : 11月1日(水)	

D	伯耆町美術展の受付の補助
主催 : 伯耆町教育委員会生涯学習室 ☎0859-62-	内容 : 伯耆町美術展の受付、カフェコーナーの補助をします。
日時 : ①11月11日(土) 9:50～12:00 ②11月11日(土) 13:00～15:00 ③11月12日(日) 9:50～12:00 ④11月12日(日) 13:00～15:00	場所 : 岸本公民館
人数 : 各回2名	持物 : 飲料
締切 : ①～④11月1日(水)	

E	リンゴの収穫・選別
主催 : 森田農園(森田道雄さん) ☎090-	内容 : 農園でリンゴの収穫と、選果場でサイズ選別の補助をします。
日時 : 11月12日(日) 9:00～11:00	場所 : 森田農園(米子市石州府105) 集合8:30(岸本公民館～公用車で送迎)
人数 : 5名程度	持物 : 飲料、長袖長ズボン、帽子、軍手
締切 : 11月1日(水)	

G	クリスマス飾り作りの補助
主催 : 岸本公民館 ☎0859-68-	内容 : 参加児童のクリスマス飾り作りの補助をします。
日時 : 12月9日(土) 10:00～12:00	場所 : 岸本公民館
人数 : 2名	持物 : 飲料
締切 : 11月24日(金)	

F	果物、野菜の収穫、出荷準備
主催 : 野坂農園(野坂 悟さん) ☎090-	内容 : 柿や野菜を収穫し、出荷準備を補助したり、干し芋作りを補助したりします。
日時 : ①11月4日(土) 10:00～12:00 ②11月4日(土) 14:00～16:00 ③11月5日(日) 10:00～12:00 ④11月5日(日) 14:00～16:00 ⑤11月18日(土) 10:00～12:00 ⑥11月18日(土) 14:00～16:00 ⑦11月19日(日) 10:00～16:00 ⑧11月19日(日) 14:00～16:00	場所 : 野坂農園(伯耆町岸本290) 自宅に集合後、農園(岸本原)に移動
	人数 : 各回3名
	持物 : 飲料、長袖長ズボン、帽子、軍手
	締切 : ①～④10月31日(火) ⑤～⑧11月10日(金)

HOUKI

ゆめネット  てごネット

表示の時間は、活動開始時間です。15分前には集合してください。ウラ面に続く 

----- きりとり線 -----

ゆめネット(地域貢献活動)参加申込書				
中学校	年	組	名前	
活動希望番号(A～Q)		活動の日時		
<input type="text"/>		月 日 () : ~ :		
参加の方法		緊急時連絡先		
<input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 保護者の送迎 <input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="text"/>		
保険の加入		雨天中止等の場合、連絡がつく電話番号を記入してください。		
<input type="checkbox"/> 加入します <input type="checkbox"/> 加入しません <input type="checkbox"/> 前回、加入しました(同年度内)				

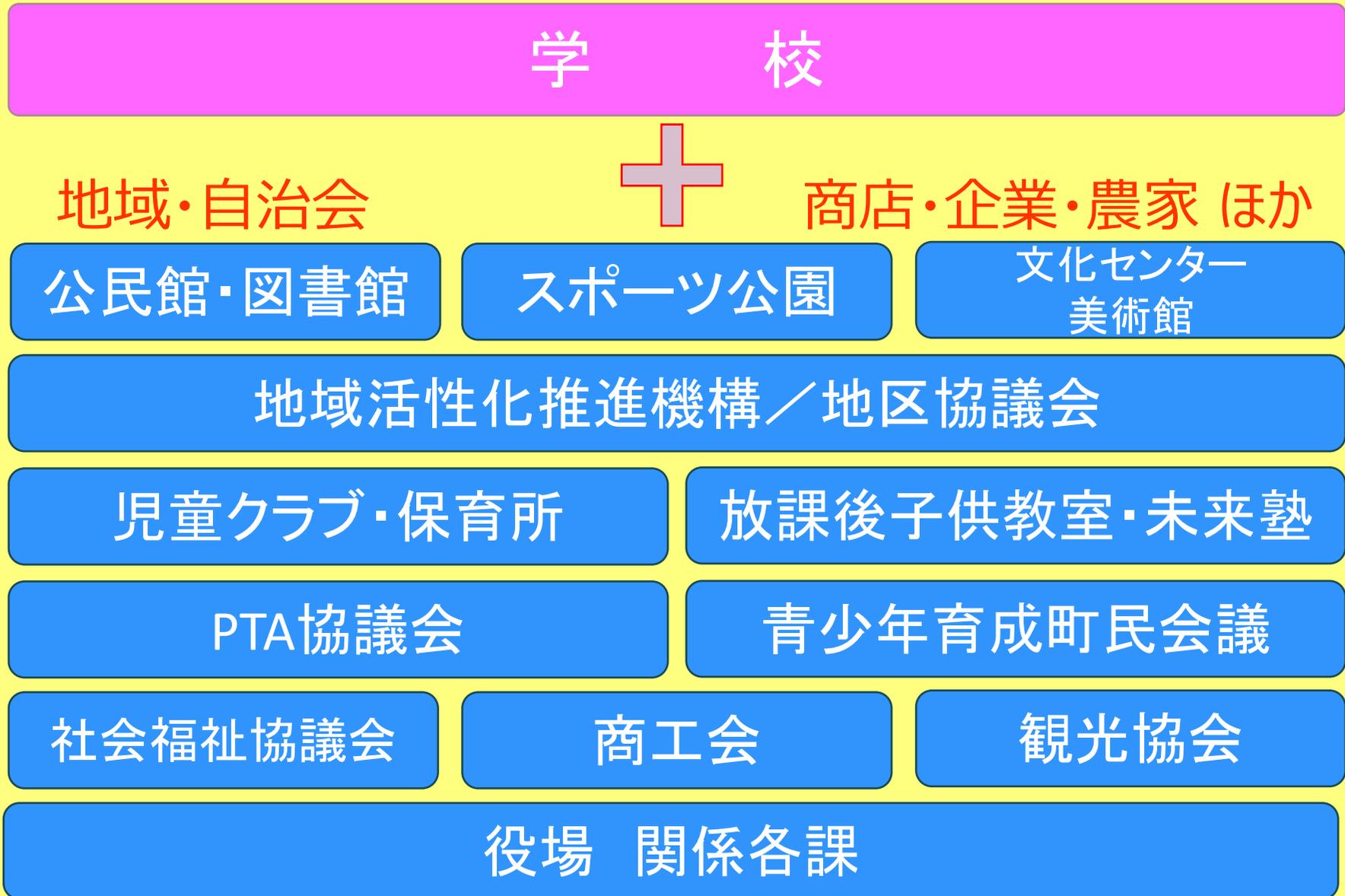
※保険に加入するときは、この申込用紙を古封筒に貼って、350円を入れて提出してください。



伯耆町地域学校協働本部



★学校と地域でつくる 子どもたちの学びと未来





3 今後への期待と課題



日時 令和5年 **11月25日(土)**

9:30 開場

9:50 開会

10:00 提案

「人・まち・未来づくり」アクションプラン
中・高生の地域貢献活動の推進について

10:35 講演

「地域と学校が協働した地域づくり・人づくり」
岡山大学大学院教育学研究科 熊谷慎之輔 教授

12:00 閉会

会場 伯耆町農村環境改善センター
(伯耆町役場本庁舎隣)

主催 伯耆町教育委員会
伯耆町地域学校協働本部



ゆめネット てごネット

事前の申込ほか、詳しくは、チラシ裏面をご覧ください。

事務局 伯耆町教育委員会事務局生涯学習室 お問合せ 0859-62-0712 csd@houki-town.jp
FAX 0859-62-7172





3 今後への期待と課題

3rdステージ(R6~8)(改訂案)

ほうき 『人・まち・未来づくり』 アクションプラン

めざす児童生徒像	子どもの取組	保育所・学校での取組	家庭での取組	地域での取組
<p>夢をもち、 すすんで学ぶ人</p>	<ol style="list-style-type: none"> 話をよく聞き、自分の考えを説明する 宿題を忘れず行い、予習に取り組む 読書の習慣を身につける 自主学習や自由研究に取り組む 生活や遊びの中で、いろいろなことに取り組む 	<ol style="list-style-type: none"> 主体的・協働的な学びの充実、共に伸びる授業の実践 授業と家庭学習の関連性を重視した指導を行う 授業内容に関連した本を紹介し、読書への興味につなげる 自己を見つめ、課題を設定し取組を振り返る習慣をつける 子どもの思いに寄り添い、思いを聞く場を設定する 	<ol style="list-style-type: none"> 学校の学習内容に関心をもつ 家庭学習に集中できる環境をつくる 本に親しむ習慣をつける 新聞等の内容に関心を持ち、親子で会話する機会をもつ 体験活動、人との交流の機会を充実させる 	<ol style="list-style-type: none"> 学習に関わる素材や人材の発掘に協力する 公民館、放課後子供教室等で多様な学習機会を提供する 町立、保育所、学校図書館が連携し、読書の充実を支援する 学校支援ボランティアの充実を図る
<p>ふるさとを愛し、 社会に貢献する人</p>	<ol style="list-style-type: none"> 身近な課題について自分ができることを考え行動する 地域の行事、ボランティア活動に進んで参加する 自分の役割を責任をもって果たす 	<ol style="list-style-type: none"> 学びを社会に開き、多様な人と共に学ぶ機会を充実させる 学びの成果を地域に還元するカリキュラムを開発する 委員会や係活動で自分の役割をもって行動できるようにする ふるさとキャリア教育を推進する 	<ol style="list-style-type: none"> 地域行事やPTA行事に参加し、共に働く親の姿を見せる 親子で夢を語り合い、子どもの夢を認め励ます 家庭の中に、毎日できる子どもの役割を作り継続させる 	<ol style="list-style-type: none"> 公民館や地域行事等に子どもの出番、企画の場を提供する 地域のよさ、伝統・文化を伝え、担い手を育成する 地域貢献活動の充実を支援する

●期待と■課題

①学びの成果を地域に開く

- 子どもたちの人間力、地域への帰属意識の高まり
- 総合的な学習の各学習段階の充実
- ふるさとキャリア教育の、小中段階のねらいを達成
- 伯耆I学習 ⇒各小学校、各中学校の取組みになっている。
⇒中学校区の拡大熟議で内容、方法、人材等を検討
⇒保小中一貫教育として、カリキュラムマネジメント



学校運営協議会の関わりが必要

●期待と■課題

②中学生の地域貢献活動

- 地域からの期待は大きい。企画・運営に携わってほしい。
 - 社会教育担当経験者が役場内の随所（協力者）にいる。
思わぬアイデアの提案がある。
 - 高校生年代への広がりを期待 ⇒ 地域を元気にしてほしい。
 - 中学生の声、発想を生かす ⇒ 貢献活動の幅が広がる。
 - 部活動の地域移行 ⇒ 趣旨は違うが、地域で育てる一つ。
- 教育課程と連携した取組みに進化させる。＝伯耆I学習と連携 ⇒ 社会に開かれた教育課程 ⇒ 持続可能な取組み



学校運営協議会の関わりが必要



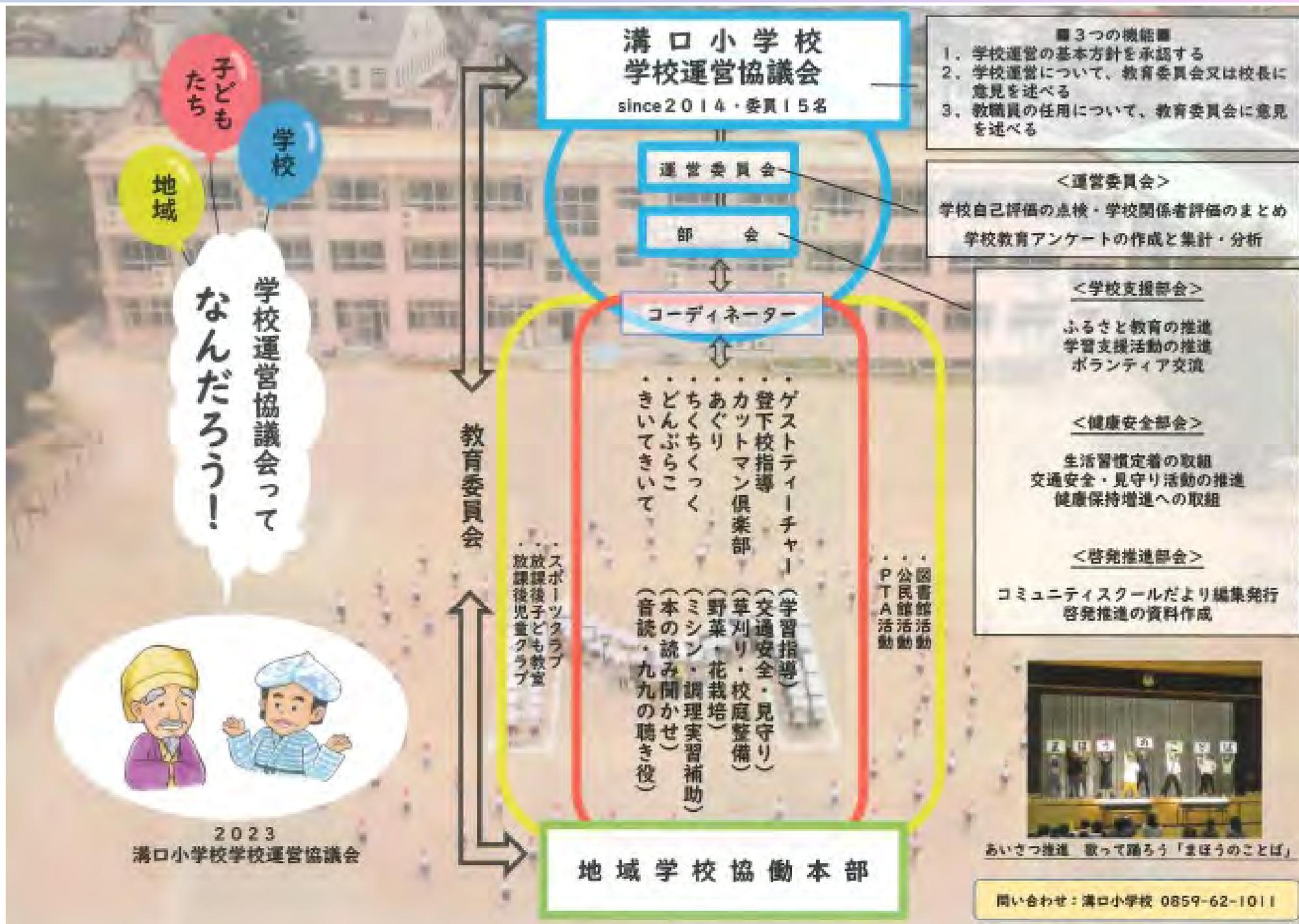
コミュニティ・スクール

人づくりは まちづくり

まちづくりは 未来づくり

未来づくりは 教育から

学校と地域でつくる 子どもたちの学びと未来



学校と地域でつくる 子どもたちの学びと未来

そうそう、ふるさと教育用に、溝口校区の大切にしたいものや場所を紹介する“溝口大好きお宝マップ”ってのも作って。



子供たちに自分のふるさとの事を知ってもらうことは大切なことですねえ。

子どもは地域の宝じゃけん、地域の臂で守り育てていくことが大切じゃろ。

ハっつあんも、何か手伝えることがあれば、手伝ってくれると有難いな。



学校の草刈りをする“カッターマン倶楽部”ちゅうのがあってな、いつでも歓迎するよ。“どんぶらこ”という本の読み聞かせのボランティアもあるんじゃよ。まずは、学校のコーディネーターに連絡するんじゃ。たのんだよ！



ご隠居さん。私でも手伝えることがありますかねえ？



そうじゃよ。学校運営協議会では、学校の教育計画や教育アンケートなどから出てくる課題について熟議をしているんじゃよ。



話し合われたことを基にして学習指導や学校行事や環境整備などについて、地域の力を得ながら学校運営を見直しているんじゃよ。

学校運営協議会で話し合っって、それからどうなるんですかい？



たとえば、授業で子どもたちが野菜や花の栽培をしとるじゃろ。その知も地域の方に、整備してもらっとるんじゃよ。そうそう、ミシンの授業でもお世話になっとるよ。先生一人でミシンの授業するのは大変じゃからなあ。



そういうことは、地域の皆さんの協力が本当に助けになりますけんねえ。



ハっつあん ご隠居に聴く！
～コミュニティ・スクールとは～

ハっつあんは溝口小学校がコミュニティ・スクールだって知ってるかい？

ご隠居さん、なんですか？そのコミュニティ何とってのは？



今は、子どもをめぐる教育課題が多様化しとるじゃろ。その問題解決のためには、地域の協力が不可欠になっとるんじゃ。そこで、地域と学校とが連携し協働して学校運営を改善しよう、学校運営協議会を設置しているんじゃ。そういう学校を“コミュニティ・スクール”って言うんじゃよ。

へえ、じゃあ溝口小学校も地域と協力しあって運営されているんですねえ。





ご清聴ありがとうございました